

社会生活（危機回避）

家の中は危険がいっぱい

小出特別支援学校川西分校（高等部） 野本 将

ねらい・目標

- ・写真を見て、危険を**回避する方法**を考えることができる。
- ・安全に対する意識を高め、**日常生活で気を付ける**ことができる。

単元・指導の工夫①

- ・学習進度を考慮した**グループ編成**



一斉型グループ



個別型グループ

- ・授業の後半では、全員が**一緒の内容**に取り組む。

単元・指導の工夫②-1

- ・何が危険か気づきやすい画像



- ・歩きスマホ
↓
⇔・事故にあう
・人や物にぶつかる

単元・指導の工夫②-2



- ・何が危険？→回避するには？

授業のまとめ

《家の中の危険を予測しよう》

※データは8人分の集計結果

危険箇所(%)	何が危ないか(%)	危険を避ける方法(%)
たばこ(100)	火事、子どもが吸う(50)	火を消す、外で吸う(50)
アイロン(60)	火事(30)	立てる、電源を切る、片つける(30)
ストーブ(60)	火事、やけど(30)	近づかない、火を消す(30)
ダンス(50)	ぶつかる(10)	(0)
ベビーベッド(50)	落ちる(30)	柵をずらす(20)
ドア(30)	子どもが出る、手をはさむ(10)	鍵を閉める(10)
犬(30)	かまれる(10)	近づかない(10)
おもちゃ(25)	けが(25)	片つける(25)
紙袋(10)	泥棒にとられる(10)	しまう(10)

成果と課題

〈成果〉

- ・日常生活で、**周囲の安全に気を配る**ことができるようになった。
- ・1人で生活する時は、**気を付けたい**と考えられるようになった。

〈課題〉

- ・危険な状況からどのようにすれば防ぐことができるかに**気付く**ことは難しい。